

夜間支援等体制加算に係る届出書(宿泊型自立訓練)

記入例

事業所番号		4210211111			
事業所名		佐世保事業所			
事業所の所在地		長崎県佐世保市八幡町1番10号			
連絡先	電話番号	0956-12-3456		担当者名	佐世保 花子
	FAX番号	0956-45-6789			
加算(Ⅰ)(Ⅱ)の届出を行う場合は、当該項目の内容を記入		夜間支援体制の確保が必要な理由 夜間の排せつ支援等を必要とする利用者が入居しているため。			
夜間支援等体制加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	2	夜間支援の対象者数及び夜間支援従事者の配置状況	夜間支援の対象者数(人)	1人の夜間支援従事者が支援を行う利用者の数(人)	想定される夜間支援体制(夜勤・宿直)
				夜間支援従事者①	夜間支援従事者②
				4	5
				9	夜勤
	3	夜間支援体制を確保している夜間及び深夜の時間帯	前年度の平均利用者数を記入※現利用者数ではない 夜間支援従事者とは、個人を表すものではなく、夜間帯を通じて配置される従事者を表すものである※記入例の場合、夜間帯を通じて2名の支援者を配置している状況 21:00~6:00 少なくとも、22:00~5:00の間配置されていることが必要		
	4	備考	夜間の支援については、2回の巡回を行うとともに、利用者の睡眠状況の確認や、必要に応じ排せつ支援等を行うこととしている。		
加算(Ⅲ)の届出を行う場合は、当該項目の内容を記入		夜間における防災体制の内容(契約内容等) 〇〇警備会社と業務委託契約を締結し、24時間体制により緊急時の連絡対応を行う。			
夜間支援等体制加算(Ⅲ)	2	緊急事態等に対応するための連絡体制・支援体制の確保の具体的方法	〇〇警備会社から管理者宛連絡を受け、当番制の従業者に連絡を行うことにより迅速に事業所に向かうことができる体制をとっている。		
	3	備考			

**【夜間支援の対象者数の考え方】**  
 ・夜間支援の対象者数は、加算単位の算定根拠となるもので、現利用者数ではなく前年度の平均利用者数(小数点第1位を四捨五入)を用いる。(参考様式14にて算出可能)

**【夜間支援従事者の考え方】**  
 ・夜間支援従事者は、個人単位を表しているものではなく、例えば、夜間帯を通じて2名の職員を交代で配置(1名は22:00~2:00、もう1名は2:00~5:00)する場合には、夜間帯を通じて配置する職員は①名となることから、従事者①にのみ夜間支援の対象者数を記入する。  
 ・同一時間帯(夜間帯を通じて)に2名を配置する場合には、従事者①と②に配置し、夜間支援の対象者数全体を按分して記入する。

- 注1 記入欄が不足する場合は、適宜欄を設けるなどして記載してください。
- 注2 夜間支援等体制加算(Ⅰ)・(Ⅱ)の2の「夜間支援の対象者数(人)」欄には、事業所における前年度の平均利用者数(新設の場合は推定数)を記入して下さい。また、前年度の平均利用者数の算定に当たって小数点以下の端数が生じる場合は、小数点第1位を四捨五入して下さい。
- 注3 夜間支援等体制加算(Ⅰ)・(Ⅱ)の2の「当該住居の夜間支援体制(夜勤・宿直)」欄について、同じ月の中で別々の日に夜勤又は宿直を配置する場合は、複数枚に書き分けるなど、夜勤を配置する日又は宿直を配置する日それぞれの場合の体制について記載してください。
- 注4 夜間支援等体制加算(Ⅲ)については、2、3のいずれか、又は両方を記載してください。
- 注5 夜間支援等体制加算(Ⅲ)の2については、事業所の人員体制や利用者との連絡体制を含め、具体的に記入して下さい。